

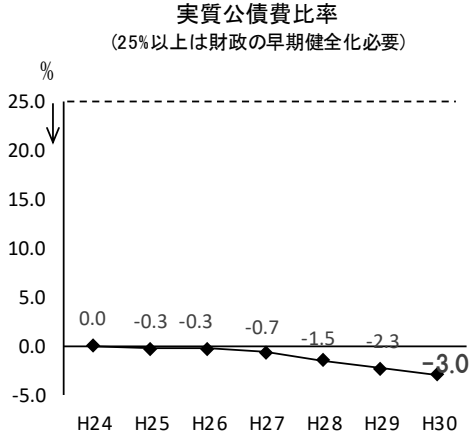
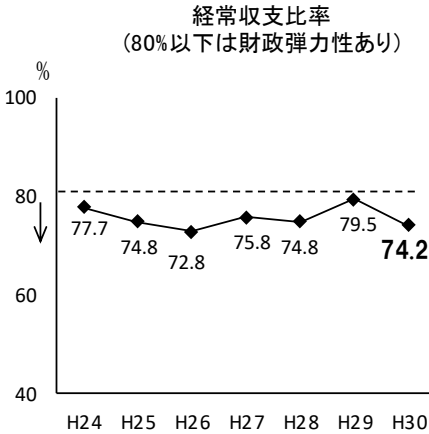
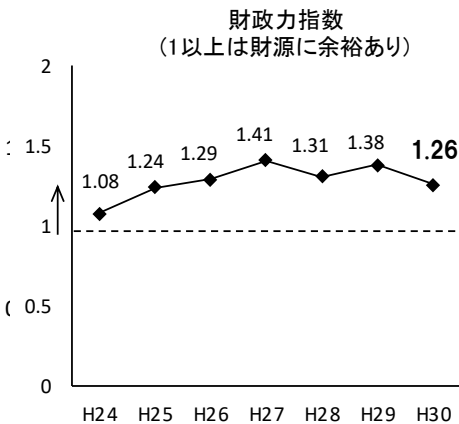
2) 9月定例会報告

1. 平成30年度決算が認定されました。

単位: 千円

四捨五入の関係で多少の誤差が生じています

区分				平成30年度決算	対前年増減率	平成29年度決算
総 計 決 算 額	歳入	一般会計		64,373,925	-2.5%	66,016,100
		特別会計		23,575,732	-5.6%	24,962,849
		計	①	87,949,657	-3.3%	90,978,949
	歳出	一般会計		59,248,811	-1.9%	60,366,690
		特別会計		20,867,248	-4.8%	21,910,744
		計	②	80,116,059	-2.6%	82,277,434
形式収支①－②		③	7,833,598	-10.0%	8,701,515	
翌年度繰越金		④	1,076,741	-47.2%	2,039,066	
実質収支③－④		⑤	6,756,857	1.4%	6,662,449	
単年度収支(H27⑤－H26⑤)				94,408	－	65,568



◆ 決算所見

歳入総計は対前年比一約30.3億円(-3.3%)、歳出総計は対前年比一約21.6億円(-2.6%)となり、実質収支は約67億円の黒字、単年度収支は約0.94億円の黒字となりました。財政力指数は若干低下しましたが、経常収支比率及び実質公債費比率は低下し、望ましい方向へ推移しており、財政の健全性は良好と判断されます。

固定資産税収は約156.7億円(前年比+1.2億円)、個人市民税収は約123.6億円(前年比+0.95億円)、法人市民税収は約53.9億円(前年比+24.8億円)、財政調整基金残高は約88億円(前年比+0.11億円)でした。



2. 10/1～放課後児童クラブのサービスが拡充されます。

10/1より、亀城及び住吉児童クラブで5、6年生の受け入れが始まります。これで全児童クラブで6年生までの受入が完了します。

また、従来は1年生のみだった※保護者が夜勤の場合の利用特例が、6年生まで拡大されます。特例拡大は、私の所属会派「市民クラブ」が要望し続けてきた事ですので、一歩前進となりました。

多様な働き方に柔軟に対応できる子育て支援に、引き続き取り組んでまいります。

※夜勤の保護者の睡眠時間等を考慮し、夜勤終了時間から8時間は家庭において、児童を見る事ができない時間として取り扱う特例



3. 10/1～幼児教育・保育の無償化が始まります。

いらすとや

概要

- ・3～5才児の利用料：幼稚園、保育所、認定こども園、企業主導型保育（標準的な利用料）の利用料を無償化。
- ・0～2才の利用料：住民税非課税世帯の利用料を無償化。
- ・給食費：一部の家庭を除き、食材料費は引き続き徴収。
- ・認可外保育施設や私立幼稚園の利用料等：別途定めによる。

不明な点は刈谷市役所子ども課
☎62-1014へお問合せ下さい。



4. 企画総務委員会で各種の提言・要望をしました。

☆市職員の働き方改革推進について提言。

『法改正に伴い、市役所の非常勤・臨時職員の多くが「会計年度任用職員」に移行し、期末手当の支給や定期的な人事評価が始まる。対象職員のモチベーション向上など、制度をうまく活用し、労働の質を高め、労使がウィンウィンの関係となるよう推進して欲しい。』



☆立体駐車場の安全性・快適性について質問・要望。

『建設予定の立体駐車場(完成目標：令和3年4月)は、転落防止柵や警報装置、防犯カメラやエレベータの設置により安全面に配慮するとともに、余裕を持った駐車枠や車路幅で快適性を確保している事は理解した。市役所の駐車場は多様な市民が利用する。危険運転やあおり運転が社会問題になっているので、安全な利用/運用に関する啓発をしっかりと実施するよう強く要望する。』

立体駐車場建設予定地
(市民交流センター西側)



☆大規模災害時の諸課題について提言・要望。

●ペット同行避難について(刈谷市内で飼育中の犬猫数:H27推定16,000頭以上)

『避難所でのペット(犬猫)受入マニュアル整備は急務。避難所にはペット用の備蓄品はなく、飼い主が準備すべき事を周知する必要がある。市のHPに「ペット防災ページ」を開設し、備蓄品リストや災害時の対応を広く発信して欲しい。』



●車中泊支援について(熊本地震発生時の車中泊者数:熊本市内で4,000人以上)

『大規模災害時に多くの人が車中泊をする事は明白。主に避難所のグラウンドで支援するとの事だが、街区公園等も開放すべき。車中避難者のエコノミークラス症候群予防やガソリン供給方法など、課題は山積している。引き続き支援方法を検討して欲しい。』



●消防団のPR活動について

『消防団への各種支援策が団員増に結び付いていない。スポットのPR活動に加え、ケーブルTVやFMラジオ、デジタルサイネージなど、メディアを活用した継続的なPR活動も実施すべき。』



5. 補正予算案が可決しました。主な事業をご紹介します。

単位: 億円

	補正前	補正額	補正後
一般会計	580.2	6.4	586.6
特別会計	240.0	4.4	244.4
企業会計	99.2	0.06	99.3
合計	919.4	10.9	930.3

高齢者安全運転支援
装置設置費補助事業



市民が所有する自家用車への「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の設置費の一部を補助する。

- ・対象者：70才以上で運転免許を所持する人
- ・対象経費：装置の購入及び設置に係る費用
- ・補助率：10分の9
- ・限度額：6万円
- ・問合せ先：くらし安心課 ☎62-1010



本事業は刈谷市、豊田市、みよし市、安城市、碧南市で、12/1より同条件で開始できるよう調整中です。事業詳細を早期に決定し、1台でも多く取り付けて頂けるようしっかりPRする事を要望しました。

6. 議案及び陳情等の審議結果です。

議案第36号：業務委託契約の締結について（（仮称）刈谷市役所立体駐車場設計施工業務）、議案第37号：刈谷市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について、議案第49号：刈谷市男女共同参画推進条例の制定について、認定第1号：平成30年度刈谷市一般会計歳入歳出決算認定についてなどを可決・認定しました。

また、陳情第17号「定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情」及び陳情第18号「国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情」、19号「愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情」を採択しました。

3) 8/20 稲垣市長に2020年度予算編成に関する要望書を提出しました。

私の所属会派「市民クラブ」6名は、2020年度予算編成に関する要望書を作成し、稲垣市長に提出しました。

私からは

- ・中小企業の市外流出防止の新たな手法検討
- ・元気なシニア人材の更なる登用
- ・障がい児・者のライフステージ支援の更なる充実

等を提案し、盛り込みました。

関係各位に対し、1件でも多く予算に反映して頂けるようお願いしています。



4) 皆様の声に基づき、道路や施設を直しました(7~9月)。

★南北連絡道路に自転車降車の啓発カンバンを6か所増設しました。

南北連絡道路の歩道を、産振センター方面から児童遊園方面に猛スピードで走り抜ける自転車が後を絶たず、近隣の方から危険性を指摘されていました。そこで、自転車の降車を促すカンバンを6か所追加設置して頂きました。



対策後



★刈谷駅北口に乱横断抑止のカンバンを3か所設置しました。

いらすとや

刈谷駅北口に乱横断抑止の啓発カンバンを3か所設置して頂きました。私は約5年前からその危険性を指摘し、3月の一般質問で改めて問題提起したところ、朝の情報番組「とくダネ!」がこの地点の問題を取り上げました。

私は「スクランブル交差点化が最善の抑止策」と提案する一方で、まずは啓発カンバン設置を要望していたところ、過日設置されました。



さばら充恭事務所(ご意見ご要望はこちらまで)

〒448-8651

刈谷市豊田町1丁目1番地 トヨタ紡織労組内

Tel:0566(26)0385 Fax:0566(26)0415

不在時Tel:0565(52)3224



<http://www.m-sahara.jp>

刈谷市議 さばら

